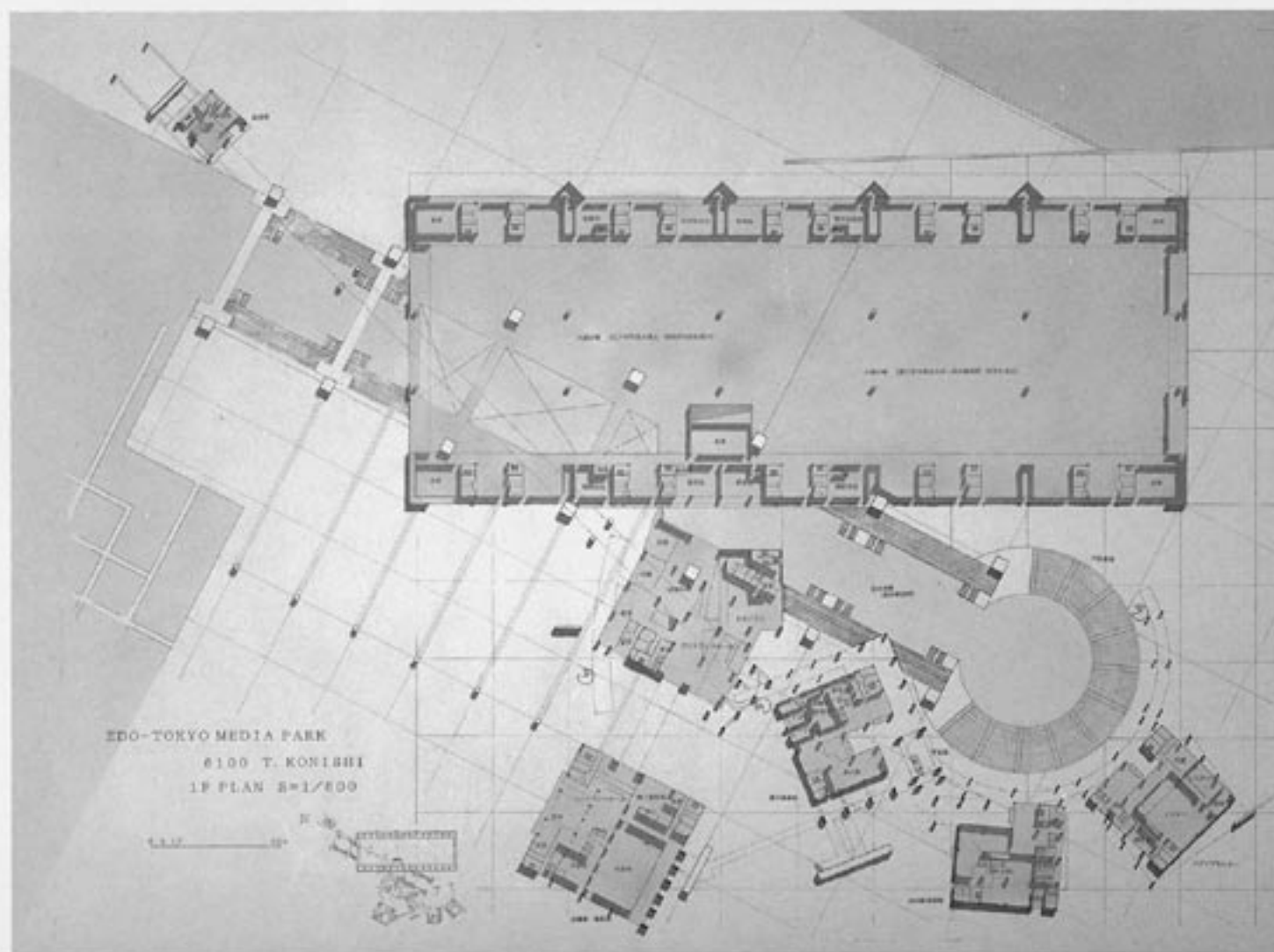
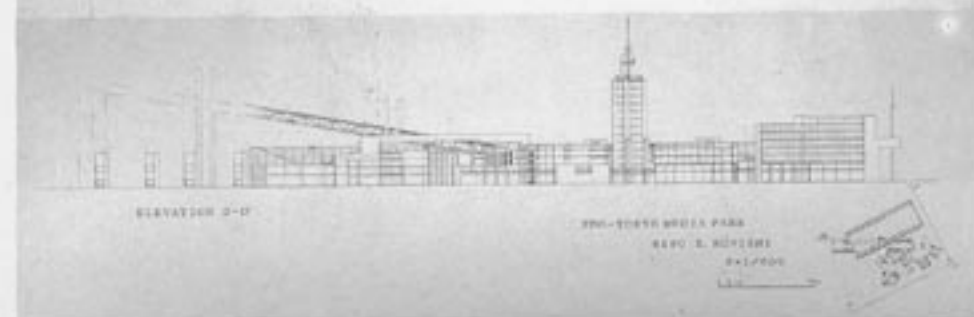
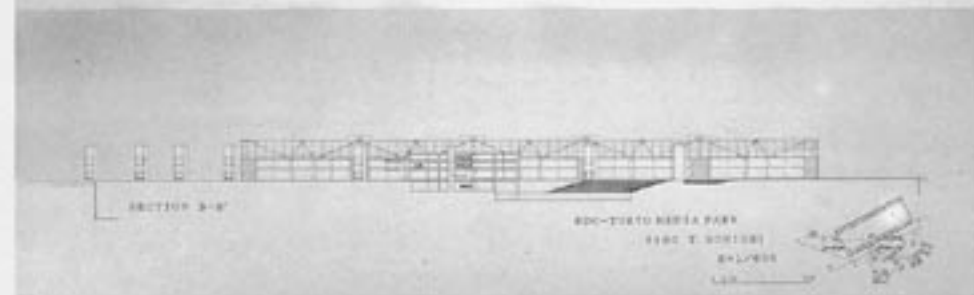
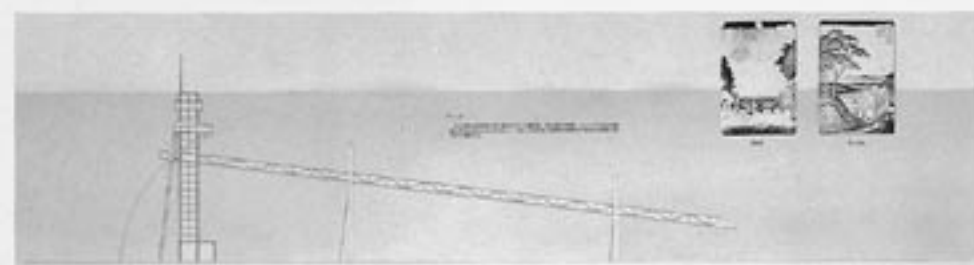
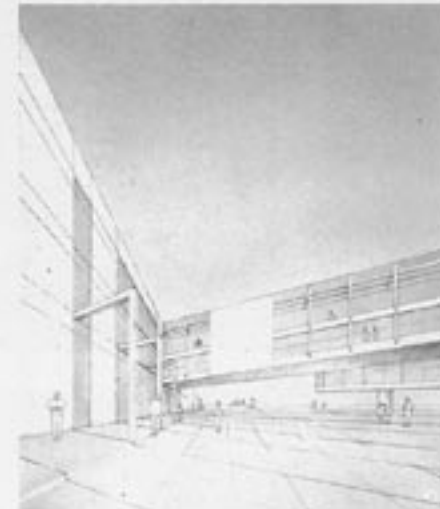
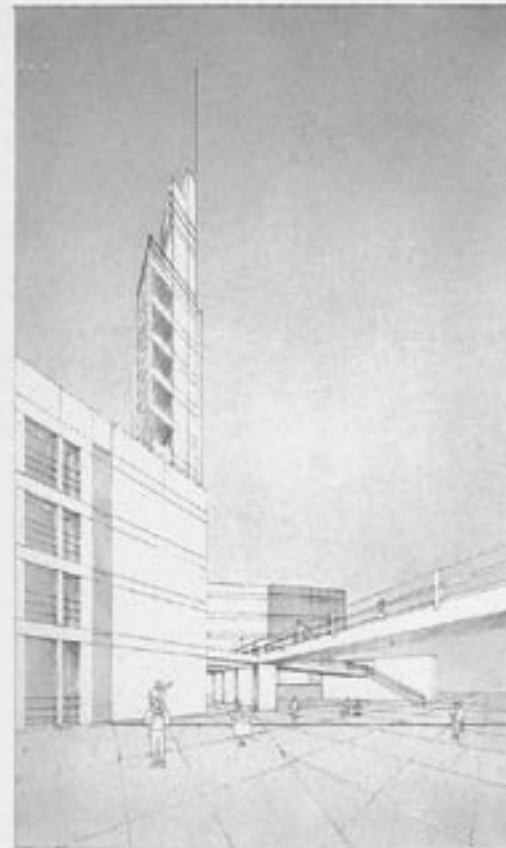
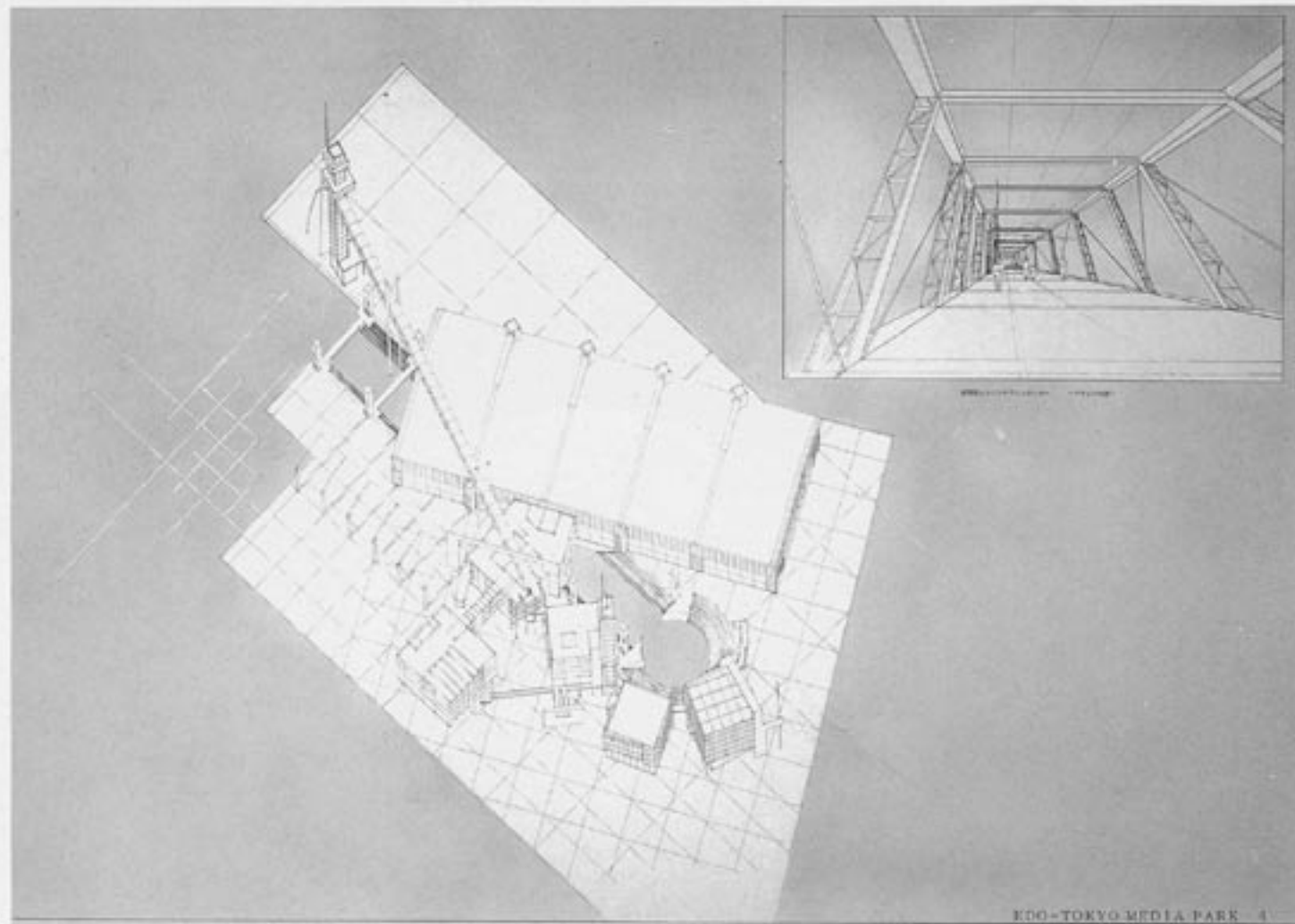


# EDO-TOKYO MEDIA PARK

小西 剛



## ■設計主旨

現代都市東京と歴史的背景としての江戸を解析し、東京成立までの文脈を把握した上で、現代的な主張により再活性化をうながす建物を、東京湾上に構築する。

東京を単なる人間の住む都会であると考えられるのではなく、東京（江戸）の成立以降現在まで行なわれた全ての事象と同じくらいの内容豊富な過去を持った心霊的存在として扱いたい。一度生じたものはけっして姿を消さず、最近の発展段階においても全て存続していると考えたい。しかし、それは形態ではなく、人の存在、意識、記憶という行為によってのみ成立する。幾世代もの間それが繰り返され、受け継がれ現在へ至っている。

人間の内面を持つ、日本らしさを定義する心象風景は既定された定形の確固たるものではなく、不定形のものである。日本らしさという一種の匂いであり、それは漠然としたイメージでしかない。そのイメージを深層心理レベルで構成し、その中に解法を求め、現代的手法によって消化しようと試みた。